

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RMD7-164-79-2	2024通年	医学教育部(25790)	1, 2, 3, 4	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
健康長寿代謝制御特論I [Special Lecture I on CMHA] (G1 健康長寿代謝制御特論I)			諸石 寿朗, 加藤 貴彦, 三浦 恭子, 富澤 一仁, 岩本 和也, 山縣 和也, 宋 文杰, 田中 靖人, 小野 悠介, 窪田 直人, 井上 俊洋, 滝澤 仁		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……40% 3.グローバルな視野と行動力 ……25% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……5%					
授業の形態	講義				
授業の方法	繰り返し学習や遠隔地からの受講が可能である利点を生かし、e-learningにより講義を進める。ビデオ講義を聴講し、その後の講義内容に関する質疑応答や、講義終了時に提示されるレポート・小テストにより学習内容の確認を行う。				
授業の目的	平均寿命の延伸から高齢社会は世界的に到来しており、日常生活に支障をきたさずに健康に生活できる期間、すなわち健康寿命を限りなく限界寿命に近づけることが医学的かつ社会的に求められている。健康寿命の延伸のためには、ヒトにおける個体レベルでの老化の基本機構を解明し、その科学的根拠に立脚した老化関連疾患（糖尿病、心不全、がん、認知症など）の予防・治療の方策を見出すことが重要である。本講義を通して、老化の生物学や健康長寿を脅かす種々の老化関連疾患の発症メカニズム、疫学、治療法、社会医学的問題など幅広い領域について基盤知識を得ることを目的とする。				
学修目標	<p>【A水準】 老化の生物学や健康長寿を脅かす種々の老化関連疾患の発症メカニズム、疫学、治療法、社会医学的問題について体系的な知識を習得し、最新の老化・健康長寿に関する学術研究議論ができることを十分に達成している。</p> <p>【C水準】 老化の生物学や健康長寿を脅かす種々の老化関連疾患の発症メカニズム、疫学、治療法、社会医学的問題について体系的な知識を習得し、最新の老化・健康長寿に関する学術研究議論ができることを最低限達成している。</p>				
授業の概要	老化および老化関連疾患について、その自然経過と病態生理、予防・治療法について学ぶ。加えて、健康長寿代謝制御研究センターの各研究部門（代謝・循環、がん・幹細胞、神経・感覚・運動器、老化モデル、疫学）を担当する教員によって提供されるオムニバス形式の講義を通して、最新の老化・健康長寿に関する学術研究について理解を深める。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		1回目 三浦 恭子 [eE-0]	老化の生物学---		
2		2回目 山縣 和也 [eE-0]	インスリンによる糖代謝の制御		
3		3回目 山縣 和也 [eE-0]	2型糖尿病の分子メカニズム		
4		4回目 山縣 和也 [eE-0]	単一遺伝子異常による糖尿病		
5		5回目 窪田 直人 [eE-0]	健康長寿達成のために - 糖尿病合併症とその対応		
6		6回目 田中 靖人 [eE-0]	消化器がんの内科的治療～最前線		
7		7回目 諸石 寿朗 [eE-0]	老化とがんに関連する細胞内シグナル伝達経路		
8		8回目 滝澤 仁 [eE-0]	炎症から見た血液老化		
9		9回目 富澤 一仁 [eE-0]	RNA修飾と疾患発症		
10		10回目 宋 文杰 [eE-0]	学習と記憶の神経基盤		
11		11回目 岩本 和也 [eE-0]	加齢に伴うエピジェネティックな変化と精神疾患		
12		12回目 井上 俊洋 [eE-0]	健康長寿を脅かす線内障		
13		13回目 小野 悠介 [eE-0]	骨格筋の加齢変化とサルコペニア		
14		14回目 加藤 貴彦 [eE-0]	社会医学の概念----		
15		15回目 加藤 貴彦 [eE-0]	疫学入門-----		
授業外学修時間の目安	本科目は、2単位科目であるため、全体で90時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30時間分（2h×15コマ）となるため、60時間分相当の事前・事後学修（課題等含む）が、授業の理解を深めるために必要となる。				
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめた資料を配布する。				
参考文献	Biology of Aging (2nd Edition, by Roger B. McDonald) ISBN 9780815345671 The Biology of Senescence: A Translational Approach (by Bernard Swynghedauw) ISBN 9783030151102				
履修条件	本講義に必要な基礎知識と、十分な学習意欲を有していること。				
評価方法・基準	講義内容に関する質疑応答や、講義終了時に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。全体の2/3以上の講義を受講していることが成績評価を受けるために必要である。成績評価は15回の講義における小テストあるいはレポートで各講義の成績を評価し、上位10回分の点数の平均を成績とする。				
使用言語	「英語」による授業				
教科書・資料の言語	「英語」のテキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				